



雑居ビルでの誤報



4階建ての小さな雑居ビルでの誤報でした。夜の **11時** は過ぎていました。

オーナー： 「ビルで火災報知機が鳴ってるらむい！見てくれ！」

私： 「えっ！私がですか？」 「今からですか？」**???**

オーナー： 「あーそうだ あんた以外誰が見れる？」

なんだか訳のわからない説得で私はビルへ向かいました。受信機は2階廊下です。主ベル、地区ベルは停止されておりました。3階が発報中。3階に上がるとスナックが2軒。双方の店から大声で下手な歌声（失礼）が聞こえています。共用部では煙の気配も無く安全を確認後店内へ。おっさん達が何かしらの歌を歌っています。

私は仕事をしています。「火災感知器が働いたようですので確認させてください」

見るまでもなく店内は安全！ ひとりのおっさん「そういえばさっき鳴ってたなー」

お気楽なことを言うこのおっさんが受信機を停止させたのではない！ 隣の店も店内安全！おっさん幸せ！

作動中の感知器が見当たらず、確認のため4階へ。同じくスナック。「俺がやかましいベルを止めた」

と言うおっさんに遭遇。状況を聞くと

音が鳴り始めたのであの機械の停止とかかれたボタンを全部押したら止まった！ と**おぼか**な発言。

状況を聞く 無駄な質問だと分かっていましたが **発報場所の現場確認をしましたか？**

おっさんA: 何？ なんで！ やかましいから止めたんだ！ **おっさんをぶん殴っていいですか？**

結局店内に異常は無く、全ての感知器は正常でした。発報したのはシャフト内の煙感知器で、ヘッドを外し受信機復旧。煙感知器の誤作動ですね！

★ 雑居ビルで飲むおっさん達よ よく聞け！ 心して聞け！

火災報知機は火災の発生を知らせるものだ。お前達の命を守ってくれる大切な機械だ。その意味を知れ！

同時にビルに居る全員の運命を左右する機械なんだ！ 音なんだ！ やかましいとは なんとること！

少なくとも ベルが鳴ったら 酒を止め 周りの安全を確認しろ！ それから飲んでも遅くはないだろ！

これが本当の火災なら お前達はもうこの世に居ないぞ！ 悲しむ奥さん、子供達のことを考えろ！

